

ドローン向け



エア－粒剤

# 銀河<sup>α</sup>

## エア－粒剤 散布マニュアル



今までにない カヤツリ剤

ベルダー<sup>®</sup>配合



地上部だけでなく  
地下部も…

※ベルダー<sup>®</sup>はジメスルファゼットの愛称です。  
※アルテア<sup>®</sup>はメタソスルフロンの愛称です。  
®は登録商標

# 水稲用一発処理除草剤「銀河α」から、 ドローンで撒ける「エア一粒剤」が登場!

多年生雑草・抵抗性広葉雑草への優れた効果はそのままに、  
年々ガンコになるホタルイへの効果を強化!

新成分「ベルダー」配合で、除草力のさらなるパワーアップが実現しました。  
ガンコな雑草の問題解決に、銀河αを是非ご活用ください。



登録番号：第24892号  
有効成分：ジメスルファゼット・・・3.75%  
ピラクロニル・・・5.0%  
メタソスルフロン・・・2.5%  
容 量：2kg

水稲用一発処理除草剤

# 銀河α<sup>®</sup> エア一粒剤



水稲用除草剤「銀河」の多年生雑草・抵抗性広葉雑草への効果はそのままに、  
年々ガンコになるホタルイへの効果を強化した、「パワーアップした銀河」!



- 今までにないカヤツリ剤「ベルダー」配合! 年々ガンコになるホタルイに卓効です。
- 除草成分「アルテア」を配合。多年生雑草の塊茎も減らし、翌年の発生量を減らします。
- 一年生広葉雑草に定評の成分「ピラクロニル」も配合しています。



# ドローンによる散布法

● 圃場周辺への飛散防止と薬剤を十分拡散させるために、以下の条件を守って散布してください。

## 〈散布条件〉

飛行高度：2～3m  
 風速：3m/秒以下  
 畦畔からの距離：10m以上  
 水深：5cm以上

## 〈散布幅〉

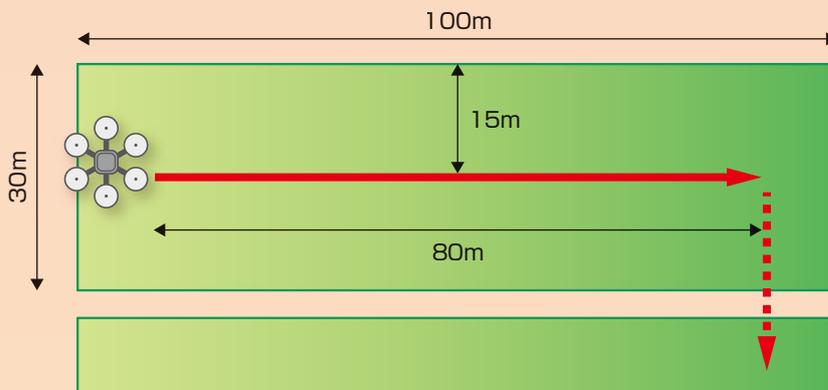
30m以下\*  
 (片側15mまで拡散します)

\*藻、浮草、表層剥離が発生している場合は適宜、散布幅を狭めてください。

## ● 推奨散布方法

機体	散布装置	飛行速度	インペラ回転数	開度 (ポリウム)	吐出時間 秒/10a	散布距離 m/10a	散布幅	30×100m圃場の飛行ルート
AGRAS T10 AGRAS T25 AGRAS T30	GS110(T) GS440(T)	15km/時	600 rpm	26.5%	6.4	26.7	30m以下 (片側15m以下)	圃場中央 片道1回 (80m)
MG-1 MG-1K T-20 T-20K	GS110 GS110K GS220 GS220K			38.5%	25.6	106.7		圃場中央 2往復 (320m)
AC101conect AC102	AC101 P13		遅	65%	12.8	53.3		圃場中央 1往復(160m)
YMR-08 YMR-II	GR1-10 ひし形ローラー		固定	76	25.6	106.7		圃場中央 2往復(320m)

## ● 飛行ルートの例 例) 30aの圃場(30×100m)を中央片道散布する場合



薬剤は15mまで拡散しますので、幅30mの圃場であれば中央片道散布が可能です。1往復以上の飛行で散布する場合は中央散布以外でも問題はありませんので、隣接田を続けて散布する場合などは適宜散布幅を調整してご使用ください。

## ● 散布距離と飛行速度から吐出量を調整する場合

### ① 吐出量を定める

1分当たり、何gの薬剤を吐出させるかを以下の手順で求めます。

$$\text{吐出量 (g/分)} = \frac{\text{処理量 (g)}}{\text{散布距離 (m)}} \times \frac{\text{飛行速度 (m/分)}^\#$$

#10、15、20km/時=167、250、333m/分

例) 40a圃場(40×100m)を15km/時で散布する場合

- 1往復・・・吐出量=1,600g÷160m×250m/分=2,500g/分
- 1.5往復・・・吐出量=1,600g÷240m×250m/分=1,666g/分
- 2往復・・・吐出量=1,600g÷320m×250m/分=1,250g/分
- 2.5往復・・・吐出量=1,600g÷400m×250m/分=1,000g/分
- 3往復・・・吐出量=1,600g÷480m×250m/分=833g/分

### ② シャッター開度を調整する

①で決めた吐出量に合わせたシャッター開度に調整します。

各散布装置の吐出量目安表を参考に調整してください。なお、往復回数は少ない方が効率的ですが、各散布装置には吐出量の上限があるので、吐出目安表に希望する吐出量がなければ、往復回数を増やすことで吐出量を減らして開度を決めてください。

# 吐出量目安表と散布例 ※「目安表」ですので、必ず試し撒きを行った上で、調整してください。

機 体 ; ■ AGRAS T10, T25, T30  
 散布装置 ; ■ GS110(T), GS440(T) (DJI)

最大積載量 ● GS110(T) : 1.2ha分

開度	吐出量 g/分	面積換算 a/分	開度	吐出量 g/分	面積換算 a/分
17.5%	1,687	42.2	23.0%	2,898	72.4
18.0%	1,790	44.8	23.5%	3,015	75.4
18.5%	1,896	47.4	24.0%	3,134	78.3
19.0%	2,002	50.1	24.5%	3,254	81.3
19.5%	2,110	52.7	25.0%	3,375	84.4
20.0%	2,219	55.5	25.5%	3,497	87.4
20.5%	2,329	58.2	26.0%	3,621	90.5
21.0%	2,440	61.0	26.5%	3,746	93.6
21.5%	2,553	63.8	27.0%	3,872	96.8
22.0%	2,666	66.7	27.5%	3,999	100.0
22.5%	2,781	69.5	28.0%	4,127	103.2

## 散布例

40×100m圃場を  
15km/時、1往復で散布  
(散布距離:80m×2=160m)



吐出量=2,500g/分



開度=21.2%  
(2,485g/分)

※投下すぎないように、希望の吐出量以下になるように設定してください。

※インペラ回転数を600rpmに設定した場合

機 体 ; ■ MG-1, MG-1K, T20, T20K  
 散布装置 ; ■ GS110, GS220(DJI)  
 ■ GS110K, GS220K(クボタ)

最大積載量 ● GS110 : 1.2ha分

最大積載量 ● GS110K : 1.2ha分

開度	吐出量 g/分	面積換算 a/分	開度	吐出量 g/分	面積換算 a/分
24.0%	446	11.1	35.0%	808	20.2
25.0%	477	11.9	36.0%	844	21.1
26.0%	508	12.7	37.0%	880	22.0
27.0%	540	13.5	38.0%	916	22.9
28.0%	572	14.3	39.0%	953	23.8
29.0%	604	15.1	40.0%	990	24.7
30.0%	637	15.9	41.0%	1,028	25.7
31.0%	670	16.8	42.0%	1,066	26.6
32.0%	704	17.6	43.0%	1,104	27.6
33.0%	738	18.5	44.0%	1,143	28.6
34.0%	773	19.3	45.0%	1,182	29.6

## 散布例

40×100m圃場を  
15km/時、2.5往復で散布  
(散布距離:80m×5=400m)



吐出量=1,000g/分



開度=40.0%  
(990g/分)

※投下すぎないように、希望の吐出量以下になるように設定してください。

※インペラ回転数を600rpmに設定した場合

※45%を超えると吐出量は頭打ちになりますので、45%迄での使用をお願いします。

(P3の手順で吐出量を決め、それに合うシャッター開度を決めるのにご使用ください。)

機 体 ; ■ AC101connect, AC-102(NTTイードローン)

散布装置 ; ■ AC101 P13(NTTイードローン)

最大積載量 | ● AC101 : 1.4ha分

開度	吐出量 g/分	面積換算 a/分	開度	吐出量 g/分	面積換算 a/分
30%	936	23.4	65%	1,866	46.7
35%	1,033	25.8	70%	2,047	51.2
40%	1,142	28.5	75%	2,240	56.0
45%	1,263	31.6	80%	2,444	61.1
50%	1,396	34.9	85%	2,661	66.5
55%	1,541	38.5	90%	2,889	72.2
60%	1,697	42.4			

### 散布例

40×100m圃場を  
15km/時、1往復で散布  
(散布距離:80m×2=160m)



吐出量=2,500g/分



開度=81%(2,487g/分)

※投下すぎないように、希望の吐出量  
以下になるように設定してください。

※インペラ回転数を「遅」に設定した場合

機 体 ; ■ YMR-08, YMR-II

散布装置 ; ■ GR1-10(ヤマハ)

最大積載量 | 1ha分

### □ ひし形ローラー ; オプション

ボリューム	吐出量 g/分	面積換算 a/分	ボリューム	吐出量 g/分	面積換算 a/分
20.0	522	13.1	60.0	822	20.6
25.0	562	14.0	65.0	857	21.4
30.0	601	15.0	70.0	892	22.3
35.0	639	16.0	75.0	926	23.1
40.0	677	16.9	80.0	959	24.0
45.0	714	17.8	85.0	992	24.8
50.0	751	18.8	90.0	1,025	25.6
55.0	787	19.7			

※80%を超えると吐出量は頭打ちになります。

### 散布例

40×100m圃場を  
15km/時、2.5往復で散布  
(散布距離:80m×5=400m)



吐出量=1,000g/分



ボリューム=86(999g/分)

※投下すぎないように、希望の吐出量  
以下になるように設定してください。

※インペラを装着していない状態で測定した場合

ドローン散布には、「**エア一粒剤**」がおすすめ！  
その省力性は、オペレーター様からも認められています。

2019年 鹿児島県農業開発総合センター大隅支場 鹿児島県伊佐市  
 耕種概要：6/17 移植  
 6/19 マーシェットジャンボ処理  
 7/11 アルテア中後期エア一粒剤、1キロ粒剤処理  
 8/1 調査  
 圃場規模：エア一粒剤…28a(29×98m)  
 1キロ粒剤…31a(31×98m)  
 機種：MG-1K  
 設定/作業時間：右表  
 処理時雑草：発生なし  
 効果：両剤ともに雑草なし

	エア一粒剤	1キロ粒剤
飛行高度(m)	2	2
飛行速度(km/時)	10	15
シャッター開度(%)	35	20
インペラ回転数(rpm)	600	1,200
モード	M	M+
散布方法(往復回数)	1	3
作業時間 <sup>*</sup> (分/圃場)	2.89	5.51
作業時間 <sup>*</sup> (分/ha)	<b>10.3</b>	17.8
作業人数(人)	2	2

### オペレーター様のご感想

1キロ粒剤と比べて往復回数が少なく、  
散布幅を気にする必要もないので  
作業が楽だった。

※薬剤投入などの準備作業含む

## 銀河αエア一粒剤の適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	使用方法	総使用回数 <sup>#</sup>
移植水稻	一年生雑草 マツバイ、ホタルイ ウリカワ、ミズガヤツリ ヘラオモダカ、ヒルムシロ セリ、オモダカ クログワイ、コウキヤガラ	移植後3日～ノビエ3葉期 ただし、 移植後30日まで	400g/10a	湛水散布 又は 無人航空機 による散布	本剤…………… 1回 ジメスルファゼット剤… 2回以内 ピラクロニル剤 …… 2回以内 メタゾスルフロン剤… 2回以内
直播水稻	一年生雑草 ホタルイ、ウリカワ ミズガヤツリ、ヒルムシロ セリ	稲1葉期～ノビエ3葉期 ただし、 収穫90日前まで			

#本剤及びそれぞれの有効成分を含む農業の総使用回数の制限を示す。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

本資料は2025年3月現在の登録内容に基づいています。



## 日産化学株式会社

東京都中央区日本橋二丁目5番1号  
 ホームページ <https://www.nissan-agro.net/>  
 お客様窓口 TEL.03-4463-8271 (9:00~17:30 土日祝日除く)